



新幹線船小屋駅建設及び 周辺整備について

村上 知巳 議員

する場合は県に整備してもらっている。

問 新幹線船小屋駅は全国でも例のない公園の中というキャッチフレーズであるが、いかに県立の公園といえ、市・市議会・地元の要望が公園整備に反映されているか市の考えと対応についてお尋ねする。

都市対策課長 工事の内容に一部問題があり、県へ抗議した。豊かさを体感出来る

る公園として、また公園の中の船小屋駅提言書に沿った整備を要望している。

問 市長は新幹線船小屋駅決定後、筑後広域公園内に温泉発掘を約束されているが、その後どうなったのかお尋ねする。

市長 船小屋温泉の振興のためには温泉発掘は欠くべからざる大きなポイントと思う。任期中に必ずメドをつけたい。



今後振興が期待される船小屋温泉

問 用地買収、家屋移転等補償は、県土地開発公社が担当されているが、国・県の行政のパイプ役として、市の対応についてお尋ねする。

市長 地方行政団体としては関係者の立場に立って、意見や想いが各関係機関に届く様努力する。

問 アクセス道路の新設により、県道から市道路線となった2本の道路の未整備の改良について県との協議内容についてお尋ねする。

建設部長 整備については従来から、県から市に移管

現在の職員の状況は

坂本 好教 議員

問 現在の臨時職員、嘱託職員の状況は。

市長公室参事 市長事務局だけでみると、15年度以降臨時職員は52人、49人、41人で3ヶ年でみると減っている。嘱託職員は23人、25人、26人で若干増加傾向にある。

問 正職員を5カ年で40人削減する案の進捗状況は。

市長公室参事 17年度を初年度として、5ヶ年の実施計画では、大体計画どおりに推移している。

問 時間外勤務の過去3年間の推移は。

市長公室参事 過去3年間で見ると、部署によって制度の改正があるところもあってでこぼこがあるが、大体横ばいか、少し減っている。

問 今後の職員数、時間外勤務の縮減の取組み方は。

市長公室参事 公的関与のあり方を見直し、本来行政が担うべき仕事か、そう

でない仕事かを見極め、民間移譲、外部委託を含め、行政のかかわりを基本的に改善していく。

将来の小学校再編は

問 古島小学校の3年生が転校し、複式になると聞か

が今後の対応は。
学校教育課長 古島小学校の3年生は、特別入学制度により、複式は免れたが、

今年1人転出し、複式は避けられない。

教育長 複式学級になると2人の先生が減るが、1人は県の教育委員会から激変緩和措置で、もう1人は臨時で雇用をしたい。

問 将来の筑後市立小学校のあり方は。

学校教育課長 小学校再編審議会を立ち上げ、来年の5月末には、基本構想の決定を予定している。



複式学級が懸念される古島小学校